

オリエンテーリング系

謎解きハイキング

～淡路の海と山にふれよう～



国立淡路青少年交流の家

謎解きハイキング

～淡路の海と山に触れよう～

■概要

グループで協力し、ポストに示された課題を解決しながら、淡路の自然を巡りゴールを目指します。(片道約4km)

■ねらい

- ◆淡路島の文化や自然の一端を発見する。
- ◆グループでの活動を通して、協力する姿勢を育む。
- ◆謎を解くことでグループの相互理解を促進する。
- ◆コースの中で発見される社会問題について意識する。
- ◆グループ内での新たな役割、能力を発見する。

■準備物

	準備物	必要数
1	●地図	グループ数
2	●問題用紙及び解答用紙	グループ数
3	●筆記用具	グループ数
4	●時計(指導者用)	1個
5	○水筒	人数分
6	○帽子	人数分
7	○タオル	人数分
8	☆バインダー	グループ数
9	☆自転車(パトロール用)	1～5台

※1, 2についてはHPよりダウンロード

- …必要なもの
- …あるとよいもの
- ☆…交流の家にあるもの



■指導者、人数、費用など

対象	小学生以上
指導	団体指導者による指導
費用	無し
人数	6～150人
1グループ数	6～8人
実施時間	3時間
実施場所	所外
時期	1年中

■服装

運動ができる服装
履きなれた靴



■展開

		研修生の動き	団体指導者の動き	職員の動き
導入 (10分)	課題・ルールの説明	・グループとなって話を聞く。	以下のことを説明する。 【課題】 ・グループで地図上にあるポストを探し、課題を解決しながら目標時間を目指しコースを回る。 【ルール】 ・目標時間は120分 ・他のグループの行動から判断をしない ・グループ同士での情報交換をしない ・公道では広がらず、常に団体として行動する ・解答用紙の提出が目標時間とずれた場合は1分につき1点の減点	団体の希望により、諸注意や安全指導を行う。
活動中 (150分)	各グループに分かれて実施	・グループでポストを回り、課題を解決していく。	・グループを時間差でスタートさせ、それぞれの時間を計測する。 ・交通量の多い場所や間違った方向に行きやすいポイントに立つ。 ・グループの安全を管理するため、自転車等で巡回する。 ・ふりかえりのためにグループの変容に注意を払う。 ・グループの解答を確認し、点数を付ける。	特に無し
まとめ (20分)	ふりかえり	・団体指導者による研修のまとめ、研修生の感想の発表	・研修のまとめや発表に対するコメントなど	特に無し

■留意点

安全上の留意点

- ・交通ルールを守り活動を行うよう指示し、安全管理を行うこと。
特に交通量の多いところでは巡回指導を行うなど、必ず声かけをし、注意を喚起すること。
- ・道に迷う場合があるのでグループの行動に注意すること。

指導上の留意点

- ・教育キャンプ場など、他人の土地に無断で立ち入らないようにすること。
- ・活動中は活動者の主体性を重んじ、安全面を除いては指導者からの介入は行わず、グループや個人の変容を観察すること。

■雨天時の対応

- ・実施可能

■中止時の対応

- ・中止時の代替プログラムを考えておいてください。

下記の要領を順守して活動を実施してください。

- 1 図中のA・B・Cに指導員を配置してください。
- 2 吹上浜キャンプ場内のトイレ、自動販売機の使用はできません。(キャンプ場は、当所の管理施設ではありません。)
- 3 ホテルニューアワジ敷地内(黄色線)への侵入は禁止です。

※折り返し地点
記号はこのあたり
を見てね



ホテルニューアワジ
プラザが淡路島

※進入禁止※

他施設の敷地内のため

謎解きハイキング

